

【審判上の注意事項】

<ルール取り扱いについて>

- ① 児童の善い行いに対しては、フェアプレー精神の育成のため積極的にグリーンカードを出してください
※各会場のグリーンカード提示事案について集約の為、全体ライン等で共有願います。
- ② モップ、チームの荷物等は安全のためにベンチ裏、またはイスの下に置く。スペースが無ければベンチ横でもよい
- ③ 靴ひもを結ぶ行為は安全を確保するためなので、特に許可を与えるということではないが結び直しをさせる。
但し、執拗に繰り返す場合は遅延行為になる。
- ④ トスは記録席前で試合開始前に行う。トスにはキャプテンが立ち会い、キャプテンマークのついたユニフォームを着用していること。
トスに勝ったチームは、サービスを行うか、サービスをレシーブする権利。または、どちらのコートに入るかを選択する。
- ⑤ 公式練習はサブ権を得たチームから行う。公式にエントリーされたチーム構成員以外は公式練習に参加できない
- ⑥ サービスは、セットの始めにチームごとに決められた順序に従って打つ。間違いがないよう、ベンチスタッフも十分注意すること。
- ⑦ 監督は、試合を妨害しない限り自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内において、立ちながらでも歩きながらでも選手に指示を出すことができる。ただし、ラリー中はベンチに座らなければならない。
みだりに監督が立ち上がったたりする行為を許容するものではない。過度に目的から逸脱してはならない。
監督を含めベンチスタッフが自然発生的に喜びを表す表現として偶発的に立ち上がったたりする行為は許容範囲である。
しかし毎回のように立ち上がったたり、あるいはベンチから数歩前に出たりする行為はルール違反である。
監督がコート上の選手とハイタッチをしたり、跳んだり跳ねたり、相手を威嚇する行為はルール違反である。
- ⑧ 1セットにつき12回までの選手交代が認められる。
ラリー中は、交代競技者はベンチに着席しているか、ウォームアップエリアに位置していること
2ndレフェリーは記録を確認し、11回目と12回目の選手交代を1stレフェリー及び監督に通告する。
- ⑨ レフェリーに対する質問はゲームキャプテンのみに認められる権利である
要求する権利のない者が要求した時など、タイムアウト及び競技者交代時の不当な要求は拒否される
またプレーに影響を及ぼしたり、同一試合中に同一チームの競技参加者が不当な要求を繰り返したりしたときはそのチームを試合の遅延として処置する
- ⑩ ユニフォームからはみ出したアンダーウェアは禁止する
- ⑪ 反スポーツマン的の行為や言動に対しては厳正に処理する。(退場・失格)
- ⑫ 髪の毛がネットに触れた場合、からみついたり等しない限り、反則としない
- ⑬ デッド後のボールは速やかにサービングチームに送る事
- ⑭ 試合の継続が危険な状況であるとレフェリーが判断した場合は、ラリーをノーカウントとする。
※隣のコートよりボール・選手が試合をするコートに侵入した。ネット際でなんらかの事情で選手が負傷した場合など
- ⑮ 競技者が負傷して例外的な選手交代をした場合、負傷した競技者は、その試合に復帰することはできない。
- ⑯ 試合中、コート内の選手は、床の汗を自分達で拭き取ること。必要に応じレフェリーにてモップの使用を許可する。
※汗によるボールの交換はその都度審判に申し出ること。

<レフェリーについて>

- ① 予選リーグのレフェリーは、抽選会終了後周知致します。
- ② 1stレフェリーは試合の最終決定者である
但し、1stレフェリーは判定や取扱いの疑惑について、レフェリーの判断でコントローラー/審判長/副審判長の意見を聞くことを許可する
- ③ 1st・2nd・記録員はサービスオーダーの確認に注意を払う
- ④ レフェリーを行う際は審判服を着用しなければならない。補助員についてはユニフォームでは行わないこと
- ⑤ 公認審判資格(B級以上)を持つ方は、二日目以降のご協力をお願い致します

お願い

小連役員も、その多くがそれぞれのチームを抱えながら頑張っております。
ぜひ、各チームスタッフは大会運営のご協力をお願いします

プロトコール（試合開始前・セット間および終了の手順）

《試合開始前》

6人制小学生ルール用

試合開始 設定時間	プロトコール 開始時間	チーム	主審・副審
プロトコール開始前		両審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用せずにウォーム・アップすることができる。	両審判員は、ネットの高さ、張り具合、アンテナの位置およびサイド・バンドの位置をチェックする。
11分前	1分前	チームキャプテンはトスのために記録席へ行く。トスの後、記録用紙にサインする。	主審は記録席前で副審を立ち合わせてトスを行う。副審は両方のチーム・キャプテン、監督を記録席に導き、記録用紙にサインをさせる。
10分前	0分前	両チームが一緒かまたは個別に（サービス権を得たチームから）公式ウォーム・アップを開始する。	主審は公式ウォーム・アップ開始を吹笛する。そしてボール、スコア・シート、ユニフォームなどゲームに必要な道具をチェックする。ライン・ジャッジと打ち合わせを行う。副審は公式ウォーム・アップの計時を行う。
7分前	3分後	個別に公式ウォーム・アップを行っている場合は交替する。	副審は各チームが個別に公式ウォーム・アップを行っている場合はその交替を吹笛で合図する。
4分前	6分後	公式ウォーム・アップを終了し、各チームのメンバーは速やかにベンチに戻る。	主審は公式ウォーム・アップの終了を吹笛する。
3分前	7分後	全プレーヤーはエンドライン上に整列する。主審の吹笛で挨拶をする。その後ベンチに戻り、スターティング・プレーヤーはユニフォーム姿で待機する。	主審は両チームのプレーヤーをエンド・ライン上に導く。主・副審は審判台の前でネットをはさんで記録席側から見て左側に主審、右側に副審が位置する。両チームが整列したら挨拶すよう吹笛する。審判役員はそれぞれの定位置につく。
1分 30秒前	8分 30秒後	主審の吹笛でスターティング・プレーヤーはベンチから直接コートに入り、コート中央に副審の方を向いて、アタック・ラインからサービス順にエンド・ラインの方向へ並ぶ。	主審は吹笛でプレーヤーをコート内へ導く。副審および記録員はそれぞれスターティング・ライン・アップとサービス順を照合する。副審はボールを最初のサーバーに送る。
0分	10分後	最初のサーバーは主審のサービスの許可によりサービスを行う。	主審はサービスの許可の吹笛をする。

《セット間》

セット終了時 ※ボールデット時	セットが終了したらコート上のプレーヤーはエンド・ライン上に整列する。プレーヤーは主審の吹笛で向かって右側のサコートをサイド・ラインに沿って進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチに戻る。	主審は両チームのプレーヤーがエンド・ライン上に整列したら交替すよう吹笛とシグナルで合図する。
2分30秒後 ※ボールデット~サーブ吹笛 まで3分	プレーヤーは副審の吹笛によりベンチから直接コートに入り、コート中央に副審の方を向いて、アタック・ラインからサービス順にエンド・ラインの方向へ並ぶ。	副審は両チームにコートに入るよう吹笛で合図する。副審と記録員はその後直ちにスターティング・ライン・アップとサービス順を照合する。

《最終セットのコートチェンジ》

いずれかのチームが 8点目を先取した時	コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列し、主審の吹笛とシグナルで向かって右側の支柱の外側をまわりコートを交替する。 ※テクニカルタイムアウトを適用している場合はコートチェンジ後副審の吹笛により取得する。	主審はコート上のプレーヤーをエンドライン上に整列させ、コートを交替すよう吹笛とシグナルで合図する。 ※主審側を回ったチームの最後選手が副審側のサイドラインを超えてから30秒計時する。 テクニカルタイムアウト終了後、副審および記録員はコート交替後、直ちに両チームのライン・アップを照合する。
------------------------	--	--

《試合終了後》

速やかに	試合が終了したらチーム・プレーヤーはエンド・ライン上に整列し、主審の吹笛でネットに近づき相手チームと挨拶する。チームキャプテンは主審と副審に感謝の挨拶をする。監督は記録席前で挨拶する。そして両チームのチーム・キャプテンは記録用紙にサインする。チームは直ちにベンチから退出する。	主審はコート上のプレーヤーをエンド・ライン上に整列させる。 主審は審判台を降り副審が審判台右側の定位置に着いたら吹笛で両チームを挨拶させる。 そして両チームのチーム・キャプテンを伴って記録席に行き、記録用紙にサインさせる。 主審は記録員の記録用紙への記入を完了させる。
------	--	---

※ボール1個による試合の場合には、副審はセット間の中断、コートの交替、およびタイム・アウトの時にボールを保管し、試合再開時にサーバーに渡す。